

高岡を前へ 未来につながる挑戦から循環を創出する

新年あけましておめでとうございませう。
市民の皆様には、希望に輝く新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

高岡市長 角田 悠紀

本市では、昨年度から総合計画第4次基本計画をスタートさせ、「挑戦」をキーワードに各種施策を展開してきました。一方、コロナ禍の中で、デジタル化やDXの推進、急速な変化に対応する人材の育成・確保などの課題が顕在化したことから、これらの課題を克服するため、本年1月よりこの計画を補完するアフターコロナ編をスタートさせ、「ひとの力」を活かす施策の展開をさらに加速させてまいります。

カーボンニュートラルの実現に向けては、昨年11月に、本市の目指す取り組みが県内で初めて、国のカーボンニュートラルを実現するための全国のモデルとなる脱炭素先行地域に選定されました。

また、富山大学高岡キャンパス内に、リサイクルアルミの研究を先行的に進める富山大学軽金属材料共同



高岡御車山勢揃式

研究棟が開所し、産学官金民協働で、高岡型の資源循環、そして、循環経済いわゆるサーキュラーエコノミーを構築できる体制も整ってまいりました。

「循環」を新たな強みとして、脱炭素と経済成長の両立に加え、資源循



まちづくり出前講座

環によるサーキュラーエコノミーを積極的に推進してまいります。

高岡の将来を担っていく人材の育成については、本市とフォートウェーン市との大学生同士の英語教育プログラムの活用をはじめとした教育交流や、フォートウェーン市及び台北市のチームとの高校野球の国際親善大会の開催などスポーツ交流を進め、言語や文化等の異なる人たちと交流ができる環境を整え、国際感覚を身につけた「ひと」をしっかりと育ててまいります。

また、経済交流については、経済や観光の関係団体とともに、海外販路の拡大などを目的に、フォートウェーン市内において高岡市内企業の製品の販売等を目指すほか、台北市ではインバウンドの促進を図るため商談会を実施し、旅行商品造成に向けたセー

ルスを行ってまいりました。

教育、スポーツ、経済等の実践の場で視野の広い人材を育成し、市民や企業が世界を舞台に挑戦していく場を充実させてまいります。

これまで市民とともに未来につながる挑戦を並び、



フォートウェーン市への訪問



台北市への訪問



カターレ富山応援の場

加速させてきたまちづくりを活かし、高岡ならではの「循環」を生み出していくとともに、未来を見据えた投資施策も積極的に展開し、次の世代、そしてその次の世代のこどもたちが夢や希望を持てるまちへと進化させ、「持続可能な未来都市 高岡」の実現に向けた動きをより加速させてまいります。

市民の皆様、どうか今おられる場所から一歩前へと踏み出していただき、共に「高岡を前へ」進めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

業を未来へ託すために ～事業承継～

問合せ先

産業企画課 TEL20-1395 FAX20-1287

富山県事業承継・引継ぎ支援センター TEL076-444-5625



事業承継とは、会社や自営業者が現在の経営者から後継者に引き継ぐことをいいます。経営権（会社の株式）だけでなく、工場や店舗など事業用資産、組織、社員なども承継の対象です。中小企業にとって、経営者の手腕が会社の強みや存立基盤そのものになっていることも多く、「誰」を後継者にして事業を引き継ぐのかは重要な課題です。

事業承継は、準備から計画の策定・実行、後継者の育成などを考えると5～10年かかる場合もあります。事業を次の世代へ繋ぐためにも、早めの準備が大切です。



まずは相談してみませんか（無料・秘密厳守）

《相談窓口》

産業企画課

▶相談者に合わせた、制度や相談先を紹介します。

富山県事業承継・引継ぎ支援センター

▶「後継者がいない、今後会社は存続していいのか」、「役員、従業員に引継ぎを考えているが、どんな手続きがあるか」など事業承継に関するあらゆる相談を専門家が受け付けます。



事業承継・引継ぎ
支援センターHP

《個別相談会》

高岡商工会議所では、毎月第3月曜日（一部変更あり）に個別相談会を開催しています。

申込 申し込みフォームか電話、Eメールで高岡商工会議所（TEL23-5007 ④soudan@ccis-toyama.or.jp）へ。



申し込み
フォーム



ゼミも実施しています

◇「人手不足時代の人財戦略～副業・兼業の活用で優れた人財を獲得するためのポイント～」

とき 2月22日(木) 午前9時20分～午後4時40分

ところ 生涯学習センター5階501研修室

講師 武石 ゆかり（テイクストーンズコンサルティング合同会社代表社員）

対象 企業の経営や人事に関わる人 / 定員 30人（申し込み順） / 参加費 16,000円

申込 ホームページの「受講申込み」から申し込みください。



中小企業大学校
金沢キャンパスHP

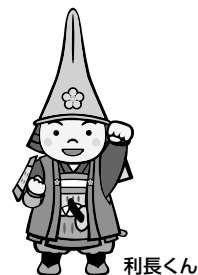
なるべく
後継者の負担を
軽くしたい…

様々な支援制度があります

- ・事業承継税制…後継者が事業を引き継ぐ際に発生する贈与税・相続税などの納税が猶予または免除される制度
 - ・事業承継支援資金…事業承継予定または事業承継から3年未満で要件を満たす事業者に対して、運転資金や設備資金の借入れができる融資制度の保証料を全額補給
 - ・創業・事業承継支援補助金…創業・第二創業・事業承継による新たな取り組みに対する補助
- ※その他、国や県をはじめ各支援機関において、支援制度を設けています。



高岡市総合計画第4次基本計画 (アフターコロナ編)が スタートします。



市民の皆さまからご意見をいただきながら、有識者や公募で選ばれた市民による審議会委員、アドバイザーが議論を重ね、アフターコロナにおけるまちづくりの方向性をまとめました。

問合せ 企画課 TEL 20-1226 FAX 20-1670

総合計画第4次基本計画（アフターコロナ編）とは

本市では、人口減少に対応しながら、次の世代からも共感を得られるまちづくりを進めるため、「総合計画第4次基本計画」（令和4年度～令和8年度）を策定し、各種施策を推進しています。

しかしながら、この間の新型コロナウイルス感染症の影響により顕在化した様々な課題の克服には、「ひとの力」を活かす施策の展開をさらに加速させていくことが必要と考え、第4次基本計画を補完する「総合計画第4次基本計画（アフターコロナ編）」を策定しました。

アフターコロナ編における新たな視点

～「ひとの力」を活かし課題への対応を加速させる4つの視点～

アフターコロナ編では、「デジタル化・DXの推進」「人材育成・人材確保」「多様な働き方のできる環境整備の推進」「地域コミュニティ活動の活性化」の4つの視点を具体的な施策の共通テーマとしました。

5つの政策分野において4つの視点から施策の方向性を示し、連携を図ることで、各分野の取り組みを更に効果的に展開していきます。

市ホームページで
計画の詳細を掲載
しています。



市 HP

総合計画第4次基本計画の5つの分野

地域産業

歴史・文化

交流・観光

子育て・教育

安全・安心

アフターコロナ編における新たな4つの視点

デジタル化・DXの推進

人材育成・人材確保

多様な働き方のできる環境整備の推進

地域コミュニティ活動の活性化

5つの分野での取り組み

4つの視点

4つの視点から1事業
抜粋して記載しています。



デジタル化



人材育成



多様な働き方



地域コミュニティ

地域産業



デジタル化の推進
などに伴う新技術の
新たな事業の創出



副業人材やイン
ターンシップ制度
の活用支援



働き方改革の推進



コミュニティ
ビジネスの創出

歴史・文化



オンライン発信等の
新たな手段を含めた
市民の創作活動支援



地域の祭りや行事
を担う新たな人材
の育成・確保



芸術・文化活動に
参加しやすい環境
の創出



地域の祭礼や年中
行事の魅力発信
への支援

交流・観光



デジタルチケット
化など観光客の
利便性向上



まち全体として
観光客をもてなす
体制整備



副業・兼業へ向
けた環境整備



市民協働型地域交通
システムの導入に取り
組む地域への支援

子育て・教育



デジタル技術を活用
した教職員・保育士
の働き方改革を推進



児童・生徒の情報
セキュリティの知識や
情報リテラシーの向上



柔軟な働き方が
可能となる環境
整備の推進



地域ぐるみで子ども
たちの成長を支える
体制の充実

安全・安心



高齢者向けアプリ
の開発、新たな交流
の場を創出



生涯学習の機会
の拡充や高齢者
の就労促進



ワーク・ライフ・
バランスを実現
できるしくみづくり



自主防災組織の
多様な主体との
連携を推進

目指す姿

持続可能な未来都市高岡

地域社会・地域経済の新たな活力につながる
ヒト・モノ・コトの循環を生み出す

ヒトの循環

地域に見守られて育った子どもたちが
次の時代の社会の創り手になっていく

モノの循環

カーボンニュートラルや
サーキュラーエコノミーの推進

コトの循環

多くの人に関わりながら課題を
一つひとつ解決していく

地域社会・地域経済の新たな活力の創出
3つの目標に向けて「ひとの力」を加速

新たな価値が生まれ、ゆとりと
豊かさを感じられるまちの実現

将来の担い手の確保
挑戦する人の育成

安心や絆を感じられる
地域コミュニティの創出



家持くん



で つけた



もっとホット高岡ニュース 🔍 検索

このページで紹介できなかった出来事も
随時掲載しています。



食と農にふれあう

11月19日

高岡テクドームで、美味しい・楽しいがいっぱいの「2023 たかおか食彩フェア」が開催されました。秋冬野菜や果物などの販売、ステージイベントなどが行われ、朝から多くの家族連れなどで賑わいました。市内から訪れた川西さん親子は「新鮮な野菜や果物、子どもが好きなプリンなどもあり、一緒に楽しめた」と満足げに話しました。

大伴家持の歌世界を感じる

11月23日

万葉衣装を着て越中国庁への出勤を模した「万葉衣装行列」が国宝勝興寺で開催され、市内外から31人が参加しました。華やかな万葉衣装を身にまとった参加者たちは、研究員の解説を聞いたり、万葉集を朗唱するなど万葉の世界を体感しました。射水市から参加した鈴木浩之さんと一翔さんは「親子で一緒に参加できて楽しかった」と笑顔で話しました。



故郷の人物を知ろう

たかおか

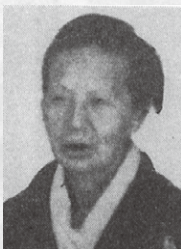
温故知新

女性教育者／神子高たか・武田貞子

江戸時代の中ごろ、町民や農民の間で教育が盛んになり寺子屋が増えました。今回は寺子屋を中心に女子教育に尽くした2人を紹介します。

○神子高たか(1817～86)

たかは修験道当山派・大福院(片原町。のち木津に移転)2世金寿院大智の子です。幼少期に金沢の人に文字を習ったといわれています。1833年、弱冠16歳の時に大福院において女子専門の寺子屋を開きました。習字をはじめ裁縫や茶道・華道・和歌などを教えました。また『女大学』の素読や『商売往来』の講義もしました。1日に200人以上も通っており生涯で8,000人ももの女子を教えたといわれています。1874～75年頃、高岡育英小



学校の教員にも就任しましたが、寺子屋は継続しました。

○武田貞子(1814～74頃)

貞子は富山藩布瀬村の十村役、高安定義の子です。9代富山藩主前田利幹側室の菊園に習字・読書・裁縫・茶道などを学び、技芸に熟達していました。戸出の富豪で山廻役の竹村屋(武田氏)長兵衛に嫁ぎます。1864年、家の経営は傾き、夫が亡くなります。3男1女を抱えた貞子は一念発起し、女子専門の寺子屋を開きます。その教育は評判をよび、当時資産家の子女のほとんどは貞子の教えを受けたといわれます。



当時女性に学問は不要とされ、越中では寺子屋に通った女兒も少なく、女性の先生は稀でした。2人は女子教育の功労者と言えるでしょう。(仁ヶ竹主幹)

問合せ 博物館 ☎ 20-1572

■右のアイコンがついているものは、無料アプリ・カタログ
ポケットで、動画やスライドショーを視聴できます。
※アプリは表紙のQRコードからインストールできます。



動画 スライドショー



サンタさんにわくわく 12月2日

オタヤ子ども広場でわくわくメルヘンランド「クリスマスパーティー」が開催され、多くの親子連れが、ミニクリスマスケーキやカレンダー作りを楽しみました。サンタさんからのプレゼントの配布もあり、参加した中島瑚乃香さんは「サンタさんに会えてうれしかった。カレンダーもうまく作れて楽しかった」と笑顔で話しました。

コスプレ×たかおか 11月19日

「オタヤdeヲタコスin高岡」が開催され、約230人のコスプレイヤーが御旅屋セリオや射水神社など市内の各スポットで撮影や交流を楽しみました。福井県在住でイベントに参加した男性は「様々なロケーションで撮影できとても楽しかった」と満足げに話しました。同日に行われた御旅屋人マーケットとのコラボ開催で、まちなかは多くの人で賑わいました。



さあ、新高岡駅から。VOL.106

観光交流都市「飯山市」からのお知らせ

◇「いいやま観光クーポン」の配布について

高岡市民が飯山市内の観光施設（土産物店、飲食店など）で使用できる「いいやま観光クーポン」について、増刷および配布期間が3月31日(日)まで延長になりました。

北陸新幹線を使えば高岡市から1時間ほどで飯山市へ到着します。冬のレジャーや雪まつりなどが楽しめる飯山へのプチ旅行などしてみたいはいかがでしょうか。

クーポン金額 3,000円分

使用期間 3月31日(日)まで

申込方法 申込フォームまたは電話

※クーポン券は飯山駅観光案内所にてお受け取りください。

※クーポン券の詳細は、信州いいやま観光局ホームページをご覧ください。



申込フォーム



信州いいやま観光局 HP



◇かまくらの里 2024

「かまくらの里」に今年も20基ほどの「かまくら」が登場します。かまくらの中で白菜やきのこなどの地元野菜を入れた信州味噌仕立ての名物「のろし鍋」を食べる体験や、そり遊びなどもできます。

とき 1月20日(土)～2月29日(木)

ところ 長野県飯山市信濃平地区

問合せ先 (一社)信州いいやま観光局

TEL 0269-62-3133(平日 午前8時30分～午後5時15分)

TEL 0269-62-7000(土日祝 午前8時30分～午後6時)